

卓 話

平成15年11月27日

視聴率について

東海テレビ岐阜支局長 太田 敏郎様

テレビ局にとって、視聴率は広告主からCM料金を頂く際の基準となる大きな指標の一つです。テレビの業界では、全日、ゴールデン、プライムの3つの時間帯でそれぞれトップの数字を獲得すると三冠王と呼んで、視聴率を競い合っています。私が12年間在籍した編成部では、その視聴率を0.1%でも獲得すべく日夜励んでいました。東海テレビの全放送時間の内、約50%はキー局と同じ番組を放送しなければなりません。残りの50%が自由



由に編成できるローカル編成の時間帯で、ニュースやスポーツ、情報系などの自社制作番組や、キー局などから購入した番組をラインアップして放送しています。この50%の時間帯、すなわち全日帯でいかに視聴率を獲得するかが、ローカル局の編成マンの腕の見せどころです。過去に東京地区で日本テレビが三冠を獲得していたものの、名古屋地区では数年間東海テレビが全日トップを維持していた時代もあり、ローカル編成が成功していたと言えます。

また、自社制作番組の中で20~30%の高視聴率を獲得しているもので、ドラゴンズナイターがあります。年間約65本のホームゲームの約半分の放送権を保有しており、できるだけ多くの本数を、バランス良く編成するのも大きな仕事の一つです。また、地震、台風、大雪などの際の特別番組も高視聴率を獲得しており、この地域の人々のテレビに対する期待の高さが伺えます。

来る12月1日よりデジタル放送が開始されます。ハイビジョン放送、データ放送、多チャンネル放送が可能となります。データ放送ではニュースや天気といった地域情報の送信が常時出来ますし、サブチャンネルでドラゴンズ戦の放送や、ニュース、天気などを放送することが、技術的には可能となっています。これまで以上にこの地域の情報をいかにきめ細かく、視聴者のニーズに合わせて放送していく事が、これからのローカル局の使命だと思います。